



お気軽にお近くの サポートセンターへ

来所の際は事前にお電話いただくとスムーズです。

名古屋市 仕事・暮らし自立 サポートセンター 名駅



〒450-0003
名古屋市中村区名駅南一丁目5番17号
ネットプラザ柳橋ビル3階

開所時間 月～金 第2、3土曜日
(祝日・年末年始を除く)

9:00～17:00 (火は20:00まで)

Tel. 052-446-7333

Fax. 052-446-7555

sigoto.kurasi@support-nagoya.jp

<http://support-nagoya.jp/>



- ・柳橋交差点から南に約100m
- ・地下鉄桜通線国際センター駅3番出口から徒歩約10分
- ・名古屋駅から徒歩約15分
- ・柳橋バス停からすぐ

名古屋市 仕事・暮らし自立 サポートセンター 金山



〒456-0018
名古屋市中村区新尾頭二丁目2番7号
富春ビル4階

開所時間 月～金 第4土曜日
(祝日・年末年始を除く)

9:00～17:00 (金は20:00まで)

Tel. 052-684-8131

Fax. 052-684-8132

kanayama@support-nagoya.jp

<http://support-nagoya.jp/>



- ・金山総合駅南口から徒歩約7分
- ・新尾頭交差点から西に約100m
- ・新尾頭町バス停からすぐ

名古屋市 仕事・暮らし自立 サポートセンター 大曽根



〒462-0825
名古屋市中村区大曽根四丁目17番23号
イトーピア大曽根1階

開所時間 月～金 第1、5土曜日
(祝日・年末年始を除く)

9:00～17:00 (木は20:00まで)

Tel. 052-508-9611

Fax. 052-508-9612

shigoto.kurashi@oozone.jp

<http://www.oozone.jp/>



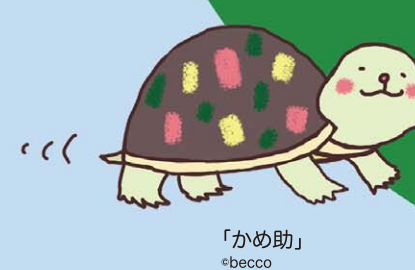
- ・地下鉄名城線大曽根駅4番出口から
まっすぐに約200m、徒歩約3分
- ・JR中央線大曽根駅(北口下車)
- ・名鉄瀬戸線大曽根駅からは眼科三宅病院を目標に



ひとりで悩まないで!!

生活の悩み、不安、困りごとはありませんか？
一人ひとりが抱えている様々な悩みを
いっしょに解決するための架け橋となります。
どんな小さなことでも、
サポートセンターにお気軽にご相談ください。

自立への架け橋



一歩ずつ前へ

名古屋市 仕事・暮らし自立サポートセンター



仕事・暮らし自立サポートセンターの事業内容

対象：名古屋市在住の方で、
現在生活保護を受給されてい
ない方を支援させていただきます。

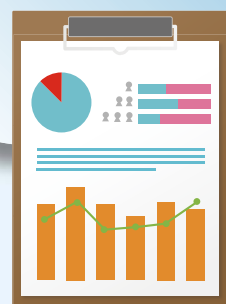
ひとりで悩みを
抱えないで
ご相談ください



自立相談支援事業

**まずはご相談を。
解決策を一緒に考えます。**

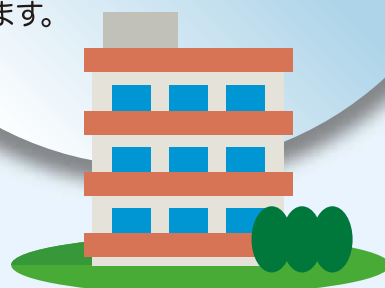
生活に困りごとや不安を抱えている場合は、まずはお近くの相談窓口にご相談ください。どのような支援が必要かあなたと一緒に考えて、具体的な支援計画を作成し、自立に向けた支援を行います。



住居確保給付金

家賃相当額を支給します。

離職等により住居を失った方、または失うおそれのある方には、就職の活動等をするを条件に、一定期間家賃相当額を支給します。生活の基盤を整えた上で、就職に向けた支援を行います。受給には収入、貯蓄額等各種要件があります。



就労訓練事業

すぐに一般の就労が難しい方には、支援付きの就労・作業などの場（認定を受けた企業や事務所が行う就労訓練）の利用に向けた支援を行います。



「ビーバー君」

就労準備支援事業

**生活・社会参加・就労の
自立をサポートします。**

日常生活が安定しなかったり、対人関係づくりや就職活動、就労に不安がある方に6ヶ月から1年の期間、就労に向けた支援計画を作成し、就労への準備支援を行います。



家計改善支援事業

**家計の立て直しを
アドバイスします。**

あなたが家計を計画的に管理できるように、「家計の見える化」など状況に応じた支援計画を作成します。債務相談や必要に応じて貸付窓口の紹介などを適時に行い、早期に生活を立て直せるような支援を行います。



※ センターでの相談の結果、法的問題の解決が必要な場合などは、弁護士等による専門相談につなぐこともあります。

ご利用・ご相談
無料
秘密厳守

まずは相談窓口へ

ご家族の方でも大丈夫です。
センターまでどうしても来所ができない方には、「ご家庭や、その他お会いできる場所」までお伺いします。
地域の方やいろいろな窓口からのご相談もお受けします。

サポートセンターでの支援の事例

失業し、仕事を探しているAさん

失業中のAさん（26歳）は「貯金も底をつき、家賃も払えない」とハローワークへ相談しました。ハローワークからサポートセンターを紹介され、その後Aさんは、住居確保給付金の支援を受け、住まいも落ち着いて仕事も見付き安心して暮らしています。

ひきこもりから自立を目指すBさん

Bさん（43歳）は、高卒後ずっとひきこもっていました。両親は心配してサポートセンターへ相談しました。その後Bさんは、サポートセンターと相談しながら、就労準備支援事業を利用し、理解あるアルバイト先と一緒に探して働くことができるようになりました。

家計管理に課題を抱えるCさん

Cさん（38歳）は、パートで働きながら2人の子ともと暮らしています。生活費が不足し、借金を重ね困ってサポートセンターへ相談しました。債務整理の支援と家計改善支援を受け、収支バランスを整え安定した生活ができるようになりました。